

若者が横浜の未来を創る

～よこはまユース アイデアソン・ハッカソン～

～始まりのアイデアソン 横浜の未来へ TAKEOFF

今、横浜市は転換期を迎えています。

少子高齢化が急速に進み、若い世代が多くの高齢者を支えざるを得ない社会になりつつあります。また、生活に欠かせない道路や下水道などのインフラの老朽化や大規模住宅団地の再生なども大きな課題となっています。

一方で、福祉や環境、文化、まちづくりなどの市民活動が活発に展開され、また独自の技術やシステムによって新しいビジネスにチャレンジする企業も数多く存在しています。そして横浜には、都心部の海や港、郊外に残された緑や農空間など、都市として魅力的な資産が豊富にあります。

横浜市では、このような都市の課題や魅力を可視化し、あらゆる方々と共有したうえで、市民や企業の知恵や力を結集して横浜の未来を切り拓いていくため、「横浜市中期4か年計画 2014～2017」素案を作成しました。そこで、この中期4か年計画素案を題材に、若い世代に呼びかけ、横浜の未来を創るアイデアを出し合い、実行に移して行くためのプログラムを実施します。

その始まりとなる「アイデアソン」*を開催します。みなさん、是非にご参加ください。

*多様な人々がアイデアを自由に出し合うワークショップ

アイデアソン

参加者みんなで、未来の横浜を創る
ためのアイデアを出し合います

10/19
Sun.

13:30～17:45 (予定)
[開場 13:00]

- ・自然災害への対応
- ・環境・エネルギーへの取組
- ・医療・介護の問題
- ・郊外住宅団地の再生
- ・2020東京五輪を目指した国際都市としてのまちづくり など

- 会場 さくらWORKS 関内
[横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 2F イベントスペース]
- 対象 原則として 15歳～25歳までの若者
- 定員 50名
- 参加費 無料

申込先 横浜市政策局政策課政策支援センター

E-mail ss-ssc@city.yokohama.jp Eメールでお申込みの際は、参加人数と全員の氏名を記載してください。

Tel 045-671-2066

*申込みにあたり収集する氏名などの個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、イベントの中止などの連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

※「若者が横浜の未来を創る～アイデアソン・ビジュアライゼーション・ハッカソン～」では、この始まりのアイデアソンを皮切りに市内の様々な場所で若者が横浜の未来を考えるためのワークショップやビジュアライゼーションなどを開催します。

今後、12月中旬にはハッカソンの開催、アプリなどによるアイデアの実装、1月にはハッカソンの成果を発表し、優秀作品を表彰して、広く社会に発信していきます。

主催 横浜オープンデータソリューション発展委員会 / LOCAL GOOD YOKOHAMA
後援 横浜市政策局 / 日本IBM(株) / 日本マイクロソフト(株) / (株)富士通エフサス 他